

とちぎ国体に向けて



弓座 秀之 議員

一般質問



鈴木 央 議員

子宮頸がんワクチンについて

質問…とちぎ国体の相撲会場となる本市で、大相撲大田原場所を開催する考えはあるか伺います。

答弁…大相撲地方巡業は、横綱を始め、大勢の力士による稽古や取り組みを間近で観戦することができ、ぶつかり合いの迫力を体験できる貴重な機会であることから、全国の開催地においても連日大盛況であることで承

知しております。とちぎ国体を控え、相撲協議会場地となる本市におきましても、大相撲巡業が開催できれば、気運の醸成を図る意味でも大変有意義であると考えております。本市では、平成11年夏に県北体育館で、大相撲巡業大田原場所が開催された経緯がございますので、今後調査してまいりたいと考えております。

質問…子宮頸がん発症のメカニズムは、ヒトパピローマウイルスの感染が原因であると言われております。ワクチンが開発されたのち、その有効性から本市においてもいち早く公費助成のもと希望者による集団接種も行われてきましたが、平成25年6月、副反応の問題提起等を受け、国が積極的な接種勧奨は差し控えております。しかしながら毎

年約1万人の方が罹患し約2900人前後の方が亡くなられております。発生のメカニズムからワクチンの予防接種の対象年齢が11歳から16歳が適応年齢と限られております。この様な観点からウイルスの感染を防ぐことが大切だと思いい市の現在の対応について伺います。

答弁…本市では予防策と致しまして、平成22年度から法定外予防接種としてワクチン接種の助成を開始し平成25年4月からは定期予防接種として実施しておりますが、同年6月の厚生労働省の通知で現在積極的な勧奨は控えておりますが「広報おおたわら」や市のホームページにおきまして定期予防接種として子宮頸がん予防接種をお知らせしております。

